

プロジェクト演習

Practice on Civil Engineering Projects

1 単位 (必修)
建設工学科教員

【授業目的】建設工学に関わる研究 調査プロジェクトについて、実際に基礎的知識の修得、資料収集・分析、報告・発表を行うことで、技術者としての基礎的素養を身につけることを目的とする。

【授業概要】各自、建設系研究室が示したプロジェクト・テーマから1つを選んで、教員の指導を受けて演習を行う。この演習は4年生に実施する卒業研究の準備としても位置づけられており、教員の指導のもとに、まとまった研究・調査を自主的に遂行し、その成果を公表・発表する能力を養うことが本演習の概要である。12グループからなる研究室が担当する。具体的テーマ、演習内容については学期はじめに発表される。

【キーワード】情報収集力、創造発想力、論理的思考力、グループ活動、プレゼンテーション

【関連科目】『卒業研究』(0.5), 『キャリアプラン演習』(0.5), 『建設基礎セミナー』(0.5), 『学びの技』(0.5), 『建設創造実験実習』(0.5)

【履修要件】全員履修すること。(【備考】参照)

【履修上の注意】なし

【到達目標】1 計画的実行能力とプレゼンテーション能力を身につけることを目標とする。すなわち、課題を発見して、調査、分析、整理を通じて、解決策を提案し、発表する能力を身につける。さらに、チームで役割を認識し、チームワークで作業を行うこと。さらには視覚プレゼンテーションを用いて口頭で効果的に発表できる能力を身につける。

【授業計画】

1. ガイダンス研究グループ説明
2. 調査テーマの発掘 1 ブレインストーミング
3. 調査テーマの発掘 2 項目の絞り込み、評価・選択
4. 調査 1 関連資料収集、ヒアリング、文献収集など
5. 調査 2 関連資料収集、ヒアリング、文献収集など
6. 分析 1 資料分析
7. 分析 2 資料分析
8. 解決策の提案 1 ブレインストーミング
9. 解決策の提案 1 ブレインストーミング
10. 調査・実験 1 調査計画・実験計画
11. 調査・実験 2 調査・実験実施
12. 調査・実験 3 調査・実験の分析・整理

13. 総括 とりまとめ

14. セミナー発表会準備

15. 発表会 相互評価

【成績評価基準】到達目標の達成度を、各グループの指導教員による参加状況と能力の評価点(70%)、能力に関する自己評価点(10%)、グループ内での相互評価点(10%)ならびに、発表会における発表内容に対する教員・学生の評価点(10%)の合計で評価し、総合評価100点満点で60点以上あれば到達目標をクリアしたとする。成績評価は総合評価点とする。

【JABEE 合格】成績評価と同じ。

【学習教目標との関連】本学科の教育目標の4(1)に20%、4(2)に20%、4(3)に30%、5(1)に15%、5(2)に15%それぞれ対応する。

【教科書】なし

【参考書】教員より参考書等が示されることがある。

【WEB 頁】<http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/D0065>

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216383>

【対象学生】開講コース学生のみ履修可能

【連絡先】

⇒ 建設工学科3年生クラス担任

【備考】

- ◇ ①毎日学習時間記録簿をつけ、週に1度指導教員のチェックを受けること。学習時間記録簿は発表会終了後指導教員に提出のこと。
- ◇ ② 成績評価は平常点のみ。